

令和 2年度予算見積調書(6月補正予算)

課室名: 高校教育指導課

担当名: 学びの改革担当

内線: 6625

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|--|---------------|---------|--|------|-----|-------|--------|-------------|-----------|-------------|
| B1 | 「教育の情報化」基盤整備費 | | | 一般会計 | 教育費 | 高等学校費 | 教育振興費 | 情報教育推進費 | | |
| 事業期間 | 平成13年度～ | 根拠法令 | 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 | | | 宣言項目 | 06 | 次代を担う人財育成 | | |
| | | | | | | 分野施策 | 030622 | 質の高い学校教育の推進 | | |
| 1 事業の概要 | | | 5 事業説明 | | | | | | | |
| 県立学校間ネットワーク、校内LAN、校務支援システム、教員用コンピュータ等の「教育の情報化」に係る基盤を整備する。 (6) 主体的な学びを支援する ICT環境整備事業 1,132千円 (7) 新時代の学びを支える指導実践事業 585,432千円 | | | (1) 事業内容 ア 校務支援システム管理運営費 61,354千円 イ 校内用コンピュータ管理運営費 155,825千円 ウ 教員用コンピュータ管理運営費 284,515千円 エ 生徒用コンピュータ管理運営費 791,104千円 オ 教育情報ネットワーク管理運営費 427,603千円 カ 主体的な学びを支援するICT環境整備事業 525,003千円 キ 新時代の学びを支える指導実践事業 700,692千円 (2) 事業計画 ア 校務支援システムを利用することで校務の効率化を図る。 イ HR、図書館、進路指導室等の共用PCを整備する。 ウ 成績処理、教材作成のための教員用PCを整備する。 エ 授業で使用するコンピュータ教室用機器を整備する。 オ 学校間ネットワーク・校内LAN・ファイルサーバ等を管理運営する。 カ タブレット端末やアクセスポイントなど生徒の主体的な学びを支援するICT環境を整備する。 キ 生徒1人1台の教育環境を生かした生徒の学びに有効な指導法の実践等や教育環境の研究を行う。 (3) 事業効果 ア 教員が生徒と向き合う時間を増加させる。 イ 生徒の興味・関心を高め、わかる授業が展開できる。 ウ 成績処理や教材作成が効率化できる。 エ 学習指導要領に定められた情報教育を行うことができる。 オ 円滑なネットワークの運営や総合的なセキュリティ対策が行える。 カ 生徒個々の主体的・継続的な学びを支援する。 キ 生徒個々に最適化された学びを実現する。 (4) その他 【前年度からの変更点】 ア パソコンの単価、リース月数増による増加 イ 新時代の学びを支える指導実践事業新規要求による増加 (5) 補正の概要 臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を実現する。 ・伊奈学園中学校における児童生徒1人1台のコンピュータ整備 ・オンライン授業を実施するための環境整備 | | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (6)～(7) 県10/10 | | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 地方交付税(単位費用) (区分) 高等学校費(細目) 生徒経費 (細節) 生徒経費 (積算内容) 教育用コンピュータ等 | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×4.0人=38,000千円 | | | | | | | | | | |
| 予算額 | | | 財 源 内 訳 | | | | | | 一般財源 | 補正後の 予算額 |
| | | | 繰入金 | 県債 | | | | | | |
| 決定額 | 586,564 | 130,564 | 456,000 | | | | | 0 | 2,843,226 | |
| 現計額 | 2,256,662 | | 274,000 | | | | | 1,982,662 | | |